

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 作品募集 2018

応募締切 2018年9月25日(火)

主催：日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

協力：国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）

<日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展とは>

日本財団は誰もが参加できるインクルーシブな社会の実現を目指し、障害者のアート活動を中心に「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS（ニッポンザイダン ダイバーシティ・イン・ジ・アーツ）」として多様性の意義と価値を広く伝え、越境や交錯、交歓の喚起を導くプロジェクトに取り組んでいます。

2018年度から「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を始動します。アートをツールに障害のある人、ない人、全ての人々の交流を促し、感動やよろこびを共有し、障害のある人自身が自己の可能性を見だし、自己実現ができるよう、「障害のある人にアート活動の機会を提供」「才能あるアーティストの発掘と育成」「障害のあるアーティストの活動を支援し社会へ発信」をコンセプトとし、多様性の意義と価値をより広く社会へ伝え、より多くの人へ届けていきます。

作品募集の流れ

写真だけでは伝わりにくい作品本来の魅力をありのままに感じることができるよう「実物審査」を行います。

国外募集	
受付期間：2018年7月2日(月)～7月27日(金)	
↓	
写真審査 8月上旬	国内募集
審査結果は8月中旬に通知	受付期間：2018年9月1日(土)～9月25日(火) ※9月10日(月)より持込での受付開始
↓	
作品応募締切 9月25日(火) 必着	
↓	
実物審査 10月中旬	
入選作品(審査員賞/入賞/佳作)を選出。最終審査結果は10月中旬より通知	
↓	
授賞式 11月下旬～12月上旬を予定	
東京都内にて授賞式を開催	
↓	
入選作品展覧会 2019年を予定	
審査員賞/入賞作品の展覧会を開催予定(東京・横浜)	

募集要項（国内版）

募集内容	国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。				
応募資格	作者本人または親権者（未成年）、保護者、後見人もしくは作者から作品の使用権を移譲された法人。				
応募点数	各作者につき3点以内とします。				
出品規格	<p>種類：絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。素材やテーマは自由です。</p> <p>※生花など生鮮物を用いたものや、火器などの危険物を用いる作品は対象外とします。</p> <p>※他者の著作権や肖像権に抵触する作品は対象外とします。</p> <p>※その他、展示方法が特殊、特別な取り扱いを要するなど、不明な場合は事前にご相談ください。</p> <p>額装：額装の必要はありません。</p> <p>※額装をした上での作品送付を希望される場合は、ガラスは使用しないでください。</p> <p>大きさ・重量：展示の制約上、下記のサイズを基準とします。</p> <p>※サイズオーバーした場合は返却できない可能性がありますので予めご了承ください。</p> <table border="1" data-bbox="279 622 1465 719"> <tr> <td>平面作品</td> <td>縦 200 cm × 横 120 cm 以内</td> </tr> <tr> <td>立体作品</td> <td>高さ 200 cm × 幅 150 cm × 奥行 150 cm 重量 50kg 以内</td> </tr> </table> <p>写真作品については、プリントの方法も作品の一部と見なします。必須ではありませんが4ツ切りサイズ（254mm×305mm）以上でのプリントが望ましいです。</p>	平面作品	縦 200 cm × 横 120 cm 以内	立体作品	高さ 200 cm × 幅 150 cm × 奥行 150 cm 重量 50kg 以内
平面作品	縦 200 cm × 横 120 cm 以内				
立体作品	高さ 200 cm × 幅 150 cm × 奥行 150 cm 重量 50kg 以内				
受付期間	<p>2018年9月1日（土）～9月25日（火）</p> <p>※作品持込期間：9月10日（月）～9月25日（火）10：00～17：00</p>				
応募料金	無料（作品の送料は往復とも応募者負担）				
応募条件	入選作品（審査員賞／入賞／佳作）に選出された場合、作品を日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS に最大1年間お貸しいただき、展覧会での展示、図録掲載、メディアなどの利用に同意いただけること。また、入選の場合でなくても、授賞式・展覧会などでのスライドショーによる作品の紹介に同意いただけること。				
応募方法	<p>応募用紙に必要事項を記入して封筒に入れ、作品と一緒に下記までお送りください。</p> <p>複数作品応募の場合は、1作品ごとに応募用紙を添付してください。梱包はまとめていただいて結構です。</p> <p>※応募用紙をコピーして使用する場合は、縮小せず、A3もしくはA4 2枚にコピーしてください。</p> <p>※複数作品を1梱包で応募する場合は、宅配送付状に梱包された作品数を明記してください。</p> <p>※応募用紙は日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ホームページ内 （https://www.diversity-in-the-arts.jp/news/category/information） からダウンロードいただけます。</p>				
審査方法	<p>審査員による実物審査を経て、入選作品（審査員賞8点／入賞42点／佳作50点を予定）を選出します。審査結果は10月中旬頃より書面で通知します。審査員賞を受賞された方には、授賞式（11月下旬～12月上旬に東京都内で開催予定）にご出席いただきます（交通費・宿泊費は主催者が負担）。</p> <p>※日本国外からの応募については、写真審査を経た後、実物審査となります。国外からの応募については、日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ホームページにて「募集要項（国外版）」をご確認ください。</p>				
入選特典	<ul style="list-style-type: none"> ● 作品図録への掲載：審査員賞／入賞／佳作 ● 入選作品展覧会での展示（2019年に東京・横浜で開催予定）：審査員賞／入賞のみ 				
運送方法	<p>ご自身で梱包して、運送業者（日本郵便・ヤマト運輸・佐川急便など）に作品の運送を依頼してください。運送中の損傷がないよう、作品保護に充分配慮して厳重に梱包してください。</p> <p>※ご自身での持ち込みも可とします。持込期間：9月10日（月）～9月25日（火）10：00～17：00</p>				
作品返却	<p>選外作品は審査会（10月中旬）の終了後、佳作作品は2018年12月上旬、審査員賞／入賞作品は展覧会の終了後に返却いたします。</p> <p>※原則として応募時の作品配送伝票に記載された送り主の住所に、応募時の梱包材を使用して返送いたします。</p> <p>※宅配業者による送料着払いで返送いたします。</p> <p>※搬入後の作業および審査中は作品の損傷などがないよう十分に注意いたしますが、万一損傷が発生した場合は、主催者の加入する動産総合保険による補償の範囲内で対応させていただきます。</p>				

審査員 (氏名五十音順)

●秋元 雄史 Yuji Akimoto (クレジット表記: ©Chisato Hikita)

東京藝術大学大学美術館館長・教授／練馬区立美術館館長

1955年生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科卒業後、1991年よりベネッセアートサイト直島のアートプロジェクトに関わる。2004年より地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・アーティストディレクターを兼務。「金沢アートプラットホーム2008」、「金沢・世界工芸トリエンナーレ」、「工芸未来派」等を開催。2007年～2017年金沢21世紀美術館館長。2013年～2015年東京藝術大学客員教授、2015年より東京藝術大学大学美術館館長・教授を兼務。2013年～2017年秋田公立美術大学客員教授。2016年9月～2017年3月女子美術大学芸術学部特別招聘教員。2015年から現職。現在、金沢21世紀美術館特任館長と兼務。

●上田 バロン Baron Ueda

FR/LAME MONGER 代表／イラストレーター

目が个性的でボールラインかつアグレッシブなスタイルのキャラクターイラストレーションを描く。主に広告・出版・音楽・ゲーム・メディアなど国内外で展開。代表作にマクドナルドコラボ・Google Chrome アーティストテーマ・ichikoroのキャラクターデザインはじめ、布袋寅泰・EXILE・Perfumeなどのアートワーク。大ヒットシリーズ「会話型心理ゲーム人狼」のキャラクターワーク。人気チーズタルト店PABLOの内装壁画。琳派400年風神雷神図を描き虎屋京都ギャラリーで披露するなど幅広く活動。Redbull Ignition 招待アーティスト。K-Design Award 2017を受賞(PABLO 京都黄金の舞妓画)。LIMITS ワールドグランプリ2017で世界3位。

●エドワード M. ゴメズ Edward M. Gómez (クレジット表記: BALLENA STUDIO)

RAW VISION 主任編集者

アートジャーナリスト、評論家、グラフィックデザイナー。ロンドンに拠点を置くアウトサイダー・アートマガジン『Raw Vision』の主任編集者であり、アメリカの雑誌『Art & Antiques』のニューヨーク通信員である。『ニューヨーク・タイムズ』、『アート+オークション』、『メトロポリス』(アメリカ)、『フォーク・アート・マガジン』、『ハイパーアレルジック』、『ジャパントイムズ』(東京)、『リフォーマ』(メキシコシティ)、『ジャマイカ・オブザーバー』(キングストン)や、その他多くの出版物に記事や写真を提供している。彼が新しく製作したバルトン・タイラーについての映画は2017年に公開された。ニューヨークを拠点に活動中。スイス・ローザンヌのアール・ブリュット美術館諮問機関員を務める。

●藏座 江美 Emi Zouza

一般社団法人ヒューマンライツふくおか 理事

2000年より熊本市現代美術館の学芸員・司書。2002年の開館記念展で菊池恵楓園入所者と出会い、以降様々な気づきを与えられる。担当した主な展覧会は「光の絵画 菊池恵楓園絵画クラブ作品展」(2003、2005、2010)、「開館5周年記念展 ATTITUDE2007」(2007)、「工房まる。てん」(2011)、「アール・ブリュット・ジャポネ展」(2013)など。2015年より一般社団法人ヒューマンライツふくおかの理事として、菊池恵楓園の絵画作品の調査、保存活動を始める。2018年奄美大島にて「ふるさと、奄美に帰る」展開催。

●中津川 浩章 Hiroaki Nakatsugawa

美術家／アートディレクター

美術家としての制作活動と同時に、さまざまな分野で社会とアートの関係性を問い直す取り組みを行う。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史ワークショップ、講演等を通じて人間が表現することの意味、大切さを伝えている。アートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーションを数多く手がけ、川崎市岡本太郎美術館「岡本太

郎とアール・ブリュット」展キュレーター、「ビッグ・アイ アートプロジェクト」展覧会アートディレクター等々務める。NPO 法人エイブル・アート・ジャパン理事、NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル理事、一般社団法人 Get in touch 理事。Art InterMix 代表。

●永野 一晃 Ikko Nagano

写真家

公益社団法人日本写真家協会 (JPS) 会員・京都読売写真クラブ代表・フォトコンテスト審査員等。1945 年京都市生まれ。印刷会社企画部勤務を経てフリーの写真家。京都を中心に、骨董美術品・建築・料理・伝統工芸・人物ルポなどを撮影し出版物・雑誌に発表している。

●望月 虚舟 Kyosyu Mochizuki

書家

1949 年、姫路市生まれ、新潟大学教育学部書道科卒業。現在姫路市立好古学園大学校講師、毎日書道展関西展実行委員。毎日書道展運営委員、大賞選考委員を経て、現在に至る。近畿地区独立書人団事務局長、姫路美術協会運営委員、毎日書道展大賞受賞、(公財)独立書人団会員賞受賞、虚舟書法会会長として活躍中、作品揮毫、作品解説を通じて、書の臨書感、創作感を講話、研究集録などを通じて、自論を展開している。著書『コツがわかれば誰でも書ける』など。

●森井 あす香 Asuka Morii

Altruart, Inc. New York ファウンダー

2010 年 Altruart, Inc. をニューヨークに設立。障がいのある作家の経済的基盤作りを目指す。京都市の特別支援学校勤務経験から作品の著作権活用を企業の CSR 活動に向けて促進・展開。独立アートキュレーターとしてニューヨーク最大規模の精神障がい者を支援する NPO「Fountain House Gallery」等への企画展や「Outsider Art Fair」等のアートフェアを始め米国進出のコンサルティングを行う。隠れきらめく作品に焦点をあてるブログ「アメリカふるふるアート観光」発信中。

《応募先・お問合せ》

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS「作品募集」係

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台 1-8-1

国際障害者交流センター ビッグ・アイ 内

TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972

Eメール contest@diversity-in-the-arts.jp

ホームページ <https://www.diversity-in-the-arts.jp/news/category/information>